

平成20年10月21日

横浜信用金庫 ・ 横浜美術館 連携事業

横浜信用金庫×子どものアトリエ 『お届けこあと』 スタート！

第1弾は、病院に入・通院する子どもたちに美術の楽しさをお届けします

横浜信用金庫（横浜市中区尾上町2-16-1 理事長 斎藤 寿臣）では、CSRの取組みの一環として、横浜美術館と連携し「子どものアトリエ・アウトリーチ・プロジェクト『お届けこあと』」をスタートします。その第1弾として、10月23日に市内病院で「安部泰輔&子どものアトリエファクトリー」を実施します。

当金庫では地域の芸術文化振興のため、横浜美術館の「Heart to Art」（美術館と企業が連携して多様な活動を推進するプログラム）に賛同し、「子どものアトリエ」に協賛しています。このたび、美術館を訪れることが難しい子どもたちにも美術の楽しさを体験してもらいたいと、横浜美術館と連携し、子どものアトリエの出張事業である「子どものアトリエ・アウトリーチ・プロジェクト」を立ち上げました。その第1弾として、病院に入・通院する子どもたちにぬいぐるみアートを楽しんでもらうプログラムを市内病院で実施します。

第2弾以降は、病院の他、学校、地区センター、地域のイベントなどに活動場所を広げ、内容も充実させて開催していく予定です。

《「お届けこあと」第1弾》 お届けこあと 『安部泰輔&子どものアトリエ ファクトリー』

1. 日程・場所 2008年10月23日（木） 市内病院

2. 内容

●安部泰輔オープンスタジオ（11:00～16:00）

作家が、事前に描いた子どもたちの絵をぬいぐるみに仕立て、子どもたちは、作家とコミュニケーションをとりながらその様子を自由に見学できます。また、出来上がったぬいぐるみは、病院内の受付等に飾られる予定です。

●ぬいぐるみアート（15:00～16:30）

横浜美術館子どものアトリエ指導員が制作指導を行い、子どもたちは、自分だけのぬいぐるみを自由に作ります。

※「子どものアトリエ」:横浜美術館が設立当初(1989年)から実施している、子どもを対象とした造形講座や親子で参加する美術体験活動です。「お届けこあと」の「こあと」は、「子どものアトリエ」から名付けました。

以上

たしかな明日のお手伝い



横浜信用金庫

神奈川・東京に60店舗